



- 一、しっかり学ぶ 錦の子
- 一、よりよく生かす 錦の子
- 一、なかよく生きる 錦の子
- 一、元気でがんばる 錦の子

第74回 卒業式 「変わらずに残るためには変わらなければならない」

6年生のみなさん、卒業おめでとうございます。厳かな中にも温もりのある卒業式でした。イタリアの有名な脚本家・映画監督である、ルキノ・ヴィスコンティの映画に「山猫」があります。その中で、俳優バード・ランカスター演ずる老貴族がつぶやいたセリフが「変わらずに残るためには変わらなければならない」です。これからの時代は、同調圧力が働き安易な前例踏襲を続ける閉鎖的な組織や文化から脱却し、しなやかに、したたかに、変化へのアップデートができる人材（財）が求められます。錦小学校の卒業生のみなさんは、輝かしい未来を切り拓く人材（財）です。一人ひとりの活躍を、保護者や地域の皆さん、教職員全員で応援しています。

6年1組 担任 増田和典 先生から

卒業おめでとうございます。

6年間、友達と励まし合いながら過ごしてきた日々は、かけがえのない時間でした。支えてくれた仲間や家族への感謝の気持ちを大切に、これからも自分らしく歩んでほしいと思います。保護者の皆様には日々の温かな見守りに感謝申し上げます。中学校生活が実り多いものとなることを願っています。



6年2組 担任 薄井清栄 先生から

6年生が、たくさんの思い出とともに本校を卒業しました。この1年間、運動会や縦割り班活動など、さまざまな場面で学校の中心となって活躍してきました。錦小学校で培った力と仲間との絆を胸に、これからも自分らしく歩いてほしいと願っています。新しいステージでのさらなる活躍を心より願っています。

Keep doing your best with a smile.



歓送の会

3月18日（水）、在校生全員で6年生を見送る、「歓送の会」を行いました。6年生は、3階の自教室から、在校生一人一人との別れを惜しみ、声をかけ合いながら1階昇降口まで進み、慣れ親しんだ学び舎を後にしました。



散りぬべきとき知りてこそ世の中の花は花なれ人も人なれ

令和5年度から令和7年度まで、校長職最後となる3年間を、ここ錦小学校で勤務できたことは大変光栄であり、うれしく思います。赴任当時は、ウィズコロナからアフターコロナへの転換期を迎えており、それまでオンラインや書面で行われていた研修会や会議が、対面やハイブリッド形式で実施されるようになりました。こうしたアフターコロナの動きは、学校行事にも様々な影響を与えることになりました。令和5年度の運動会は、平日の午前中の開催、通常どおりの給食、午後は授業を行い、下校班による一斉下校という内容でした。その後、2年間は同様の日程で運動会を実施しました。地域の行事では、錦地区体育祭が5年ぶりに開催されるなど、錦地区まちづくり協議会における各種イベントが再開された年でもありました。また、子どもの家が校庭の南側に完成しました。それまで子どもの家として使用していた北校舎1階西側の教室は、PTA事務室として模様替えをしました。



(子どもの家)



(PTA事務室)

令和6年度は、本校が、栃木県小学校教育研究会宇都宮支部の事務局となりました。その関係で、総会や役員会・理事会等の会場になるのですが、広い会議室がないため、体育館や南校舎3階の音楽室で開催しました。また、その年は、家庭科支部部会の研究指定を受けており、11月に6年家庭科の授業を公開しました。約80名を超える教職員が家庭科室で研究授業を参観し、その後体育館で熱心な研究協議が行われました。また、PTA広報紙が、第46回全国小・中学校PTA広報紙コンクールで奨励賞を受賞し、令和7年度の第47回コンクールでも2年連続で受賞をしました。さらに、園芸ボランティアの「ガーデニングお助け隊」には、宇都宮市から教育支援者感謝状が贈呈されました。



令和7年度は、熱中症等の対策の一環として、運動会と修学旅行の実施時期を入れ替えました。また、創立75周年記念式典に向け組織を立ち上げ、6月に第1回実行委員会を開催することができました。

PTA会長様をはじめ、執行部役員、各専門部の皆様、地域協議会長様をはじめ、委員の皆様、錦地区まちづくり協議会長様をはじめ、役員の皆様、連合自治会長様をはじめ、自治会の皆様、本校同窓会長様、各種ボランティアの皆様、保護者の皆様、教職員の皆様、そして、これまで学校を支えていただきましたすべての皆様、3年間、大変お世話になりました。錦小学校の益々の発展と、皆様のご健勝とご活躍をご祈念申し上げ、退職のあいさつとさせていただきます。



錦小学校第25代校長 大森 信二



本校のHPは日々更新しています。
最新情報はHPでご確認ください。



にっこりえがお
しっかりまなぶ
きたえるからだ